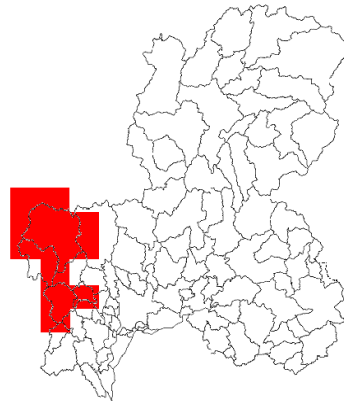


ツルガシワ	<i>Vincetoxicum macrophyllum</i> Siebold et Zucc. var. <i>nikoense</i> Maxim.	準絶滅危惧
		ガガイモ科
選定理由	分布域の一部において生育条件が悪化しており、種の存続への圧迫が強まっていると判断される。	<p>写真(奥田浩之)</p> 
形態の特徴	つる性の多年草。葉は対生、中間につく葉は大きく長さ12-25cm、卵円形または菱状楕円形で、先は鋭く尖る。花は上部の葉の脇に出た短い花柄に多数がかたまってつき、花冠は暗紫色で径6-8mm。	
生態的特徴	山地の落葉広葉樹林や林縁に見られる。花期は6-7月。	
分布状況	日本に固有で、本州(関東地方以西)、四国、九州に分布する。岐阜県においては県南西部に見られる。	
減少要因	生育環境である落葉広葉樹林の伐採。	
保全対策	現状の生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	「神奈川県植物誌 2001」(神奈川県植物誌調査会(編), 2001年)	



文責: 奥田浩之